

Hyper Ing 2013

”Hyper Ing”は上高生を応援する先輩メッセージです。 上野高校 HP→進路指導室→進路通信 でバックナンバーが閲覧できます。

上野高等学校進路指導部 vol.25 2014/3/7

上高の「花道の先輩」ドキュメント その14

上野高校を巣立った先輩たちがどのように学生生活を送っているのか、進路主任の富澤が大学を直接訪問してお話を伺いました。第14回は2014年2月12日、奈良県広陵町にある畿央大学を訪れました。

第14回：資格の先に待つ覚悟

畿央大学 教育学部 現代教育学科 保健教育コース3年 津村 真紀帆さん 1年 森永 菜摘さん



大学玄関で。向かって右が津村さん 左が森永さん

◇住宅街の中のコンパクトな大学

——近鉄伊賀神戸駅から五位堂駅まで急行で約1時間、丘陵地に向かって幹線道路を約20分歩くときれいなキャンパスが見えてきます。ただ駅からずっと上り坂で、つい途中のサークルKでコーヒーを買ってしまいました(笑)。

津村 そこは最近オープンしたばかりで、それまでは信号を渡って道路の反対側のローソンで買い物をしていました。

——地図で見ると敷地が小さいです。畿央大学は色々な学科があるからか、建物がぎっしり並んでいます。

津村 グッッシュで建物の端まで行けますよ(笑)。高校の延長のような感じで、学部を超えて知り合いが多いです。グラウンドはここから少し離れたところにあります。

——校舎の中を案内していただいています。開学10年ということで新しいです。自習スペースもあります。通路の一角が教室みたいになっています(次頁写真上)。

津村 自習用にも使えますが、模擬授業をする学生が練習に使ったりとか、放課後は私が加入している、教員を目指す学生の「教職クラブ」で使ったりしています。

——教員になると授業公開は今や当たり前です。通していただいた「保健実習室」は保健室みたいですが(写真中)。

津村 健康相談や養護概説の授業で使います。養護活動をする際にベッドを使うと心が安らいで子どもの心も出てくる、など実物を使って勉強します。元々は二つのゼミ室だったのですが、仕切りを取り外して、学生も意見を出しながら改造しました。今年開学10周年で地域の方に大学を紹介するイベントがあり、ゼミで催し物を企画したのですが、私たちは「街の保健室」と題してこの機材を持ち出して視力測定をしたり、保健についての展示を作ったりしました。教員採用試験では視力検査の方法などが出題されるので、先生から「勉強も兼ねてやったら」と勧められて。

——実際にやった方が身につきますね。他にはどのような実習室があるのですか？

津村 畿央大学には看護学科があり、「学校看護Ⅱ」の授業では看護実習室を使わせてもらいます。養護教諭の視点からの授業

は教育学部の先生、技術系の話は看護学科の先生からで、養護教諭のゼミの先生は両方とも看護師の免許を持っています。養護、看護両方からの話が聞けるのが恵まれているところです。

——養護教諭以外の免許も取っていますか？

津村 認定心理士や英語の免許を取る人もいますが、私は養護教諭と小学校教諭の免許を目指しています。看護学科には看護師と養護教諭の両方を取る人がいて、3回生の養護教諭の授業では一緒に授業を受けます。看護の人たちの話を聞けるのは面白いです。私たちが2回生で病院実習に行きます。



——時間割を見せてもらうと1回生は5時間目までびっしり、土曜日も授業があります。教科書も学校保健に関するもの以外に身体の機能や応急措置など医療系のものがあります。

——時間割を見せてもらうと1回生は5時間目までびっしり、土曜日も授業があります。教科書も学校保健に関するもの以外に身体の機能や応急措置など医療系のものがあります。

津村 怪我の種類と措置の方法に関する教科書は海外の翻訳なので、銃で撃たれた場合の傷とか、蛇にかまれた場合のことまで載っています(笑)。

——銃創で保健室に来られたら一大事ですね(笑)。養護教諭の採用試験に怪我の種類や応急措置に関しても出題されるのですね。津村さんは3回生なので採用試験の準備も始めていますか？

津村 学生支援センターの先生が対策講座をさせていただいたり、東京アカデミー(公務員試験の予備校)の先生が来てくれたりします。授業以外の時間帯に行います。

——複数の資格取得のためにたくさん授業を取って、教採の対策もする。かなりの盛りだくさんですね。

津村 5限目終了が17時50分、6限目があると19時30分。1限目は9時からなので伊賀神戸7時30分発です。1回生の後期が一番しんどかったです。

◇養護教諭を目指す

——保健教育コースはどのようなカリキュラムになっているのですか？

津村 1回生の前期が教養、後期に養護教諭や小学校教諭の基礎科目、2回生になると指導法の授業があります。小学校の授業指導案を書く課題がどんどん来ます。図工の指導案が一番きつかったです。5年生の多色刷り木版画の指導案ですが、その先生の評価は松竹梅で竹以上が合格、締め切り前には添削をしてもらう学生の列が研究室の前にできます。「添削できました」のメールが来たらずぐに取りに行行ってやり直し。あと一息だと評価が竹の「ケ」だけ(笑)。特別活動担当の先生は『こころのノート』の編者で、奥付に名前が載っていました。私は養護教諭と両方を取るので、2回生で小学校の道徳と特別活動の指導法、3回生で養護教諭の特別活動について勉強しました。

——具体的にどういう内容ですか？

津村 小学校の道徳は一般的な道徳教材の授業展開、特別活動は運動会で1年生と交流できる種目を児童に考えさせる授業例を考えました。養護教諭の特別活動は歯磨き、怪我の予防、生活リズムや薬物、心の持ち方についての授業例を考えました。

——1回生で知識をつけて、2回生以降は実際に現場で働くための指導案作りということですね。

森永 1回生の前期は小学校を目指す人と同じ授業でしたが、後期に養護教諭の専門的な授業が入ってきて、「ああ、養護教諭を目指す学校に入ってきたな」という感じです(笑)。今試験中ですが、解剖生理学はひたすら知識をたたき込む、学校保健学や学校看護学は養護教諭として自分の意見を持っているかが問われます。解剖学や栄養学は1冊のテキストがすべて範囲で、それを半年で覚えなければなりません。授業はどんどん進み、小テストがあって不合格ならレポートです。

——学校で怪我をしたら真っ先に保健室へ来ますから、看護師並みの知識は求められます。勉強量は半端じゃないですね。

森永 高校生が思い描く大学とは違いますね(笑)。

津村 サークル行って、飲み会行って、バイトして、いっぱい遊んで…というのは全然ないです(笑)。サークルはありますが、試合に出るガチの体育会はあまりないです。飲み会は校外実習で都会に行った帰りにお疲れさま会とかですね。



——見学実習は病院以外にどこへ行きましたか？

津村 1 回生で大阪教育大学付属池田小学校に行きました。学科長がその出身で、事件の時に家族のケアに関わったそうです。学科長や校長先生が事件のこと、事件の後学校の構造がどう変わったについて説明していただきました。犯人が侵入した同じルートで校舎に入って、実際にどこで児童が刺されたか、詳しく聞かせていただきました。話を聞いて、しんどい部分もありますが、事件の前に校舎がこういう造りになっていれば…、とか色々考えました。

森永 遺族の方の音声録音も聞かせていただきました。今の校長先生が事件当時の教諭だそうです。入学したばかりでいきなり

事件の話聞かされて戸惑いましたが、印象深い見学でした。

——学校の中で一番年長者は教員です。東日本大震災でも大人の判断一つで生死が分かれました。教員は、普段は授業中心の生活ですが、何かの時には矢面に立たなければいけない。そのことを実感するための研修ですね。

津村 養護の先生で毎月気仙沼に行っている方がいて、気仙沼の先生と一緒に活動している臨床心理士の話を聞く機会を作っていただいています。私たちが教員を目指す上で知っておくべき「教員のあり方」について考えさせられました。

——事件が起きたときの対応、その後の心のケア、教員の仕事は実は生易しくない、それを実体験できる機会が設けられていることは貴重ですね。畿央大学の生徒さんはどのような感じですか？ 近隣の人が大半ですか？

森永 鹿兒島、徳島から来ている人もいます。上野高校生は多いですね。二階堂先生（大学の近くに住んでいます）の話では、上野高校生は畿央大学で二番目に多いそうです（笑）。

津村 ボランティアを積極的にする学生が多いです。大学にボランティアセンターがありますし、教育学部が主催するボランティアもあります。私たちは「マミボコキッズ」という、教育学部の1期生が立ち上げた組織に入っています。地域の小学校に呼びかけて児童を募集し、48人を6グループに分けて、ひたすら「遊び」ます。最近の子どもは公園で友達と遊んだりせず、ひとり家でテレビゲームなどをしていることが多いです。体を動かしてみんなと遊ぶことを通じて成長し、相手の成長も認められるようなゲームを企画します。私は運営スタッフで、半年6回分、順を追って成長できるゲームを議論して考えました。森永さんは当日、実際に遊ぶボランティアとして参加してくれました。

森永 私は何も知らず普通のボランティアのつもりで行ったのですが、気持ちも体力も使うボランティアでした（笑）。同じ大学生を見て学んだり、色々な児童がいることを体験できたりして勉強になりました。

——でも子どもはそうそう意図した通りに遊んでくれませんか。

津村 「このゲーム人前でやりたくない」という児童はいます。フォローして、児童がゲームに参加し、自分を認められるように持って行くのは難しいです。抜けてきた児童の話を聞いて、どのタイミングでグループに戻すかも気を遣います。その中で児童を尊重しながらうまくやっていく先輩がいて、それがあからどれだけ疲れようが「また行かなければ」と思います。

——現場体験や先輩のやり方を勉強する機会ですね。さて、養護教諭を目指したきっかけは何ですか？

津村 私は小学生の頃から保健室っ子（笑）で、嫌なことがあってもそこには無条件で受け入れてくれる人がいる、話を聞いてもらって、安心して教室に戻っていました。一番影響を受けているのは中学の養護の先生です。私が過換気を起こしたとき、心配するでもなく、放っておくでもなく、私の悩みを笑い飛ばしてくれる、明るい先生でした。私の中学には当時いろいろ問題を抱えている生徒がいましたが、誰に対しても手を抜かず見てくれました。病院と一緒に付いてきてくれたり、担任の先生と連絡を取り合ってくれたり、上野高校を受験した時、服部先生が寄ってきて「君、津村さんだね。中学の養護教諭から聞いているから心配しないで」と言われて「すごい根回し」と思いました（笑）。何か人の役に立ちたいと思った時に、私もこういう風に子供を受け入れられる先生になりたいと思いました。

——教員は「これこれしなさい」と言うのも仕事ですが、しんどい子そのままを受け入れる、強制しないが放置もしない、「寄り添う」という微妙なバランスも必要とされます。口では言えますが容易いことではありません。

津村 過換気の場合、「ゆっくりしなさい」と言われても、分かっているけどできないからからしんどいのです。私は冨澤先生を含めて担任に恵まれている方で（笑）、今ボランティアをしていて、「私はあの時こうされていたんだ」と実感します。私もそ

ういう先生たちと一緒に働きたいと思います。

森永 私はあまり保健室のお世話にはならなかったのですが、小学校は同級生5人の小規模校で、六年生になると遊ぶことがなくなってきて、保健室の砂場で遊んでいました（一同「それって箱庭療法の?!」）。養護教諭を志望したのは高3の春ぐらいで、大きなきっかけがあったわけではありません。私は教員の家系で育って（笑）私も教員かなと思ってはいたのですが、性格的に前に立って指揮をするタイプではない。進路について悩んできた時に、父から養護教諭を勧められて、それで養護の高島先生に色々話を聞かせていただき、興味が湧きました。大学で勉強する中で、元気な人にも弱い部分がある、そうした根の部分をサポートしたいと考えるようになりました。また秋に車で大きい事故をして意識を失っている時、通りがかりの人に助けられました。顔も覚えていないその方がいなかったら私は今ここにいないです。学校現場で命に関わる場面では養護教諭が頼りにされている。入学した時はあやふやだった私が、命を救ってもらったという体験を大事にして今度は私が恩返しをしたい。今は「養護教諭になりたい」とはっきり言うことができます。

——最近資格から大学を選ぶ生徒が増えています。でもどの仕事にも何らかの「覚悟」が求められます。入学前から強い覚悟が必須とは言いませんが、大学での研究や人とのつながりの中で、自分が目指す仕事の意味について掘り下げて欲しいと願います。そうして生まれた考えが仕事をする上での芯になります。

◇よいことに流される

——畿央大学を選んだ理由は？

津村 私は最初医療系を考えていましたが、過換気の体験を活かそうと養護教諭を志望しました。看護から養護教諭と考えたので、近隣ではここか京都橋なので受験しましたが、看護は合格せず（笑）教育学部に合格しました。看護学部があるのでプラスになるものがあるし、心理の先生も充実しているので選びました。

森永 オープンキャンパスで魅力を感じました。また養護教諭と小学校免許の両方を取りたかったです。国立の養護教諭養成課程は理系で、私は100%文系なので（笑）、条件に当てはまるのが畿央大学でした。

——畿央大学は人気があり、国立の併願校として受験する生徒が増えています。入試問題を見るとセンター試験を少し難しくした出題がされています。勉強はどうしましたか？

森永 数学と英語を徹底的にやりました。その教科は高校受験でも苦勞していて、勉強法を工夫した経験が活かされました。英語は音声プレーヤーに入れてリスニングと発音を心がけました。数学は量をこなしました。数学は解き方が分かれば数字が替わっただけの出題も多いので、分かってくると面白くなってきました。

津村 現代文はセンター用の問題集をひたすらやりました。文学史と故事成語がマニアックなものが出題されるので、語呂で覚えたり、国語便覧の後ろの頁をコピーしてずーっと見たりしていました。数学はオープンキャンパスに行くと赤本が貰えるので3周しました。英語は担任の濱野先生に泣きついて（笑）教えていただきました。畿央は単語や発音問題が必ず出題されるので、すき間時間を活用して音声聞きながら単語帳を見ました。

——最後に上野高校の後輩に向けてメッセージをお願いします。

森永 一生懸命な姿を見せたら周りの人は理解してくれます。自分に意志があれば思うようになります。一生懸命、周りの人のために頑張ってください。自分だけが大変な目をしていると思わずに、家族の理解や担任の支えがあって自分の進むべき道が見えてきます。意志があるなら強く持ち、でも独りよがりにならずに周りと一緒に目標を目指して欲しいと思います。

津村 高校の時しかできないことを頑張ってください。また大学合格を目標に頑張るのは当然ですが、入って終わりではなく、大学ではじめて知ることや分かることがあります。私も現場に出ている先輩とつながりができて様々なことを学びました。大学に入っても閉鎖的にならずに、色々なことに積極的に参加して「いいことに流される」と大学生活が充実します。私も「マミポコキッズ」は流されて始めたのですが（笑）、新たな発見や出会いがありました。先輩や先生が声をかけてくれて、ついて行って、つながりができる。自分の芯は持ちつつ、「いい話だ」と思ったら参加して人の輪も広げてください。

——色々な経験やつながりから学んで、子どもに寄り添える養護教諭を目指してください。ありがとうございました。

